



「聴く」ことから考える「関係性のデザイン」  
「Designers27 待つということ、聴くということ」開催

神戸市の都市戦略「デザイン都市・神戸」の拠点施設である「デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）」では、社会貢献活動の活性化や創造性を育むさまざまな活動に取り組んでいます。この取り組みの一環として、次のとおりトークイベントを開催いたします。

デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）では、トークイベント「Designers27 待つということ、聴くということ」を開催します。

デザインとは、単に形をつくることではなく、課題を発見し、思考し、計画を立てる一連の行為をさします。この過程においては、物事がどのようにつながり、影響し合っているのかという「関係性」を知ることが欠かせません。また、自身の感情や無意識の思い込みなど、目に見えにくく見過ごされがちな要素も、良い関係性を形づくる重要な要因となります。それらに真摯に向かい、心を寄せる態度は、包括的なアイデアや実践を生む一歩になります。

本イベントでは、そうした関係性に気づくための入り口として、「聴く」という行為や、「待つ」という姿勢に着目します。 インタビュアーには、尼崎を拠点に企業・行政・市民とともに共創的な場づくりを実践する、株式会社ここにある代表の藤本遼さんをお迎えします。ゲストには、地域や居場所における人のつながりをコーディネートし、広報や寄付を呼びかける活動に取り組む、一般財団法人 SAZARE の江副真文さん、聴こえない人と聴こえる人との新たな関わりを生み出してきた認定 NPO 法人 Silent Voice の日下友乃さん。そして、領域を横断しながら「ケアする関係性」を広げる活動を行う一般社団法人 Deep Care Lab の川地真史さんの3名を迎えます。「聴く」とは本来どのような行為なのか。他者や社会、自分自身と健全な関係性を築くためにはどのようなことができるかなど、多様な現場での実践を手がかりに、関係性のデザインについて考えます。

【Designers とは】

デザインに関わりながら、幅広い活動を展開する方々をゲストにお招きし、仕事の紹介やその進め方、デザインに対する考え方や今後の活動についてなどを、ゲストと馴染みの深いインタビュアーとの対話を通じて紐解いていくトークイベントです。

【開催概要】

催事名：Designers27 待つということ、聴くということ

日時：2026年1月31日（土）14:00～16:30

場所：デザイン・クリエイティブセンター神戸 3F 301

インタビュアー：藤本 遼（株式会社ここにある）

ゲスト：江副 真文（一般社団法人 SAZARE）、川地 真史（一般社団法人 Deep Care Lab / 公共とデザイン）、

日下 友乃（認定 NPO 法人 Silent Voice）

定員：40名程度（要申込、先着順）

参加費：無料

申込：KIITO ウェブサイト (<https://kiito.jp/>) からお申込みください。

申込期間：1月8日（木）15:00 から KIITO ウェブサイトにて申し込み

主催：デザイン・クリエイティブセンター神戸

## 【インタビュアープロフィール】



藤本 遼（株式会社ここにある）

1990年4月生まれ。兵庫県尼崎市出身在住。「すべての人が楽しみながら、わたしとしての人生をまっとうできる社会」を目指し、さまざまなプロジェクトや活動を進める。「いかしあう生態系の編み直し」がキーワード。現在は、多様な主体や個人が関わり合いながら進める地域イベントのプロデュース、共創的な場づくりやローカルデザインに関するコンサルティングやプロジェクトマネジメントなどを行う。最近では行政のみならず、企業と連携しながら進めるプロジェクトも多い。代表的なものに「ミーツ・ザ・福祉」「カリー寺」「おつかいチャレンジ」「グッド！ネイバー！ミーティング！」「武庫之のうえん」などがある。『場づくりという冒険 いかしあうつながりを編み直す』著。

## 【ゲストプロフィール】



江副 真文（一般社団法人 SAZARE）

神戸出身。大学卒業後に大阪の商業施設内の運営ディレクター、神戸では企画編集のプロジェクトマネージャーなどを務める。その後、地域のコミュニティや居場所づくりの中間支援に関心を持ち、2022年2月に一般社団法人 SAZARE を立ち上げ神戸市内でのまちづくりを学生やNPO・企業と連携や伴奏支援をはじめる。そのほか、2021年4月より認定NPO法人 全国こども食堂支援センター・むすびえに参画。広報を通して、こども食堂に向けた寄付や支援を呼びかける「ファンドレイジング」の業務に従事している。



川地 真史（一般社団法人 Deep Care Lab / 公共とデザイン）

Aalto University CoDesign修士課程卒。フィンランドにてソーシャルイノベーション、参加型デザインの研究をすすめる。2021年、公共とデザイン・Deep Care Lab という二つの法人を設立。自然・生きものから祖先や未来世代まで含みこんだ”相互ケア”的社会実装をテーマに活動中。産むを問い合わせ直すデザインリサーチ「産まみ(む)めも」、應典院「あそびの精舎」構想/運営、都市から海をケアする「C-O」プロジェクトなど実績多数。論考に『マルチスピーシーズとの協働デザインとケア』(思想 2022年10月号)、共著に『クリエイティブデモクラシー』(BNN出版)。應典院プログラムディレクター。



日下 友乃（認定NPO法人 Silent Voice）

1998年広島県広島市出身。ヒバク3世。国際教養大学卒業後、外資系ホテルの幹部候補生コースに新卒入社。私だからできる方法で平和に貢献したいという思いのもと、認定NPO法人 Silent Voice に転職。全国の聴覚障害のある子どもを対象にしたオンライン教育事業の責任者を務め、昨年からはファンドレイジングにも従事。事業の中で出会う子どもたちも、共に働くチームメンバーも、その人が人生を心の底から楽しめるように、関わっていきたい。